地域アドバイザー事業

特定相談支援事業・障害児相談支援事業所の現況調査結果について

令和7年5月に、尾張北部圏域内5市2町のご協力のもと、特定相談支援事業、障害児相談支援事業所へ現況調査を行いました。

セルフプランの率だけを追うのではなく、セルフプランにならざるを得ない状態に対して、計画的に解消できる取り組みを図る参考になるよう実施。

尾張北部圏域全体の数値は、11月25日に予定している圏域会議でお示し予定。

以下、単純に報告いただいた数字のみで判断しており、質的(実際の各事業所現況)な 部分は触れていませんので、ご了承ください。

1 令和7年5月時点での計画相談、障害児相談支援の対象児・者数

障がい者 1,265名、障がい児 868名

2 令和7年5月時点でのセルフプラン率

小牧市	者	553名	43.7%	児	513名	59.1%
(参考) 愛知県	者		14.5%	児		23.17%
(参考) 全国平均	者		15.8%			30.7%

※上記のうち、希望するセルフプランがどの程度おられるか把握していない。

※愛知県、全国平均値は令和6年3月末時点のもの

3 相談支援専門員数

相談員レベル別	小牧市	(参考春日井市
	人口 15 万人	人口 30 万)
主任相談支援専門員専従	2名	4名
主任相談支援専門員兼任	3名	1名
現任研修修了レベル専従	3名	17名
現任研修修了レベル兼任	11 名	6名
初任者研修修了2年以上専従	0名	7名
初任者研修修了2年以上兼任	0名	9名
初任者研修修了者専従	1名	6名
初任者研修修了者兼任	2名	8名
計	22 名	58 名

初任者研修修了から従事する相談支援専門員が不足することが目立つ。

4 担当人数平均

相談員レベル	小牧市	参考 春日井市
主任相談支援専門員 専従	54.5 人(最多 87)	108.75 人(最多 156)
主任相談支援専門員 兼任	27.33 人(最多 66)	98人(最多98)
現任研修修了レベル 専従	53.33 人 (最多 78)	75.7 人(最多 188)
現任研修修了レベル 兼任	28.27 人(最多 73)	45.5 人 (最多 62)
初任者研修修了2年以上 専従	0	78.85 人(最多 133)
初任者研修修了2年以上 兼任	0	27.22 人(最多 73)
初任者研修修了者 専従	5人(最多5)	41.66 人(最多 110)
初任者研修修了者 兼任	29.2 人(最多 55)	35 名(最多 151)

5 サービス等利用計画、モニタリング作成が一番多い月の件数

相談員レベル	小牧市	参考 春日井市
主任相談支援専門員 専従	17.5 件	32.25 件
主任相談支援専門員 兼任	5.66 件	27 件
現任研修修了レベル 専従	21 件	19.35 件
現任研修修了レベル 兼任	9.36 件	10.5 件
初任者研修修了2年以上 専従	0	23.14 件
初任者研修修了2年以上 兼任	0	8件
初任者研修修了者 専従	2件	10.15 件
初任者研修修了者 兼任	11 件	10.25 件

6 平均担当者人数から割り出した今後の必要な相談員数

- (A) 小牧市 専従の相談員 37.61 人 兼任の相談員 28.26 人
- (B) 春日井市 専従の相談員 76.24 人 兼任の相談員 52.43 人

小牧市セルフプラン数(者+児)1,066 人に対して (B)8 名~(A)16 名程度相談員が必要

7 1月にこなす件数の平均

小牧市 専従の相談員 13.5 件 兼任の相談員 8.67 件 春日井市 専従の相談員 21.22 件 兼任の相談員 13.93 件 <目安>

専従相談員は月で、サービス等利用計画、モニタリング作成が 17 件を超えてくると限界 兼任相談員は月で、サービス等利用計画、モニタリング作成が 11 件を超えてくると限界

8 考察

- ・小牧市は主任、現任研修修了者が安定して多いため、月の平均作成件数を参考にして 作成数を増やす。(機能強化型など体制を強化する)
- ・初任者研修から継続してもらえる相談員の育成が重要。(協働モデル型の加速)
- ・この単純な数値から、協議会等で今後の取り組みを考えてほしい。(子ども分野など)